

岩国市における地域公共交通活性化・再生総合事業  
(岩国市地域公共交通活性化再生法協議会)

事業期間  
21～23年度

少子、高齢化・過疎化の進展等により公共交通の利用者が減少傾向にある中、日常生活の移動手段を確保するため、鉄道・バスといった公共交通全体の一体的な改善を図るとともに、錦川鉄道の維持・活性化に向けた取り組みを行い、併せて地域の活性化を目指す。

【岩国市地域公共交通活性化再生法協議会】

岩国市、岩国市交通局、錦川鉄道(株)、山口県乗用自動車協会、住民代表、錦川清流線を育てる会、山口県岩国土木建築事務所、地元警察署、中国運輸局山口運輸支局、(以下オブザーバー)学識経験者、山口県、中国運輸局

事業の概要(22年度)

①利用促進のための情報発信事業 1,700千円

- ◇錦川鉄道や「とことこトレイン」の情報等を観光雑誌に掲載  
・「るるぶ1月発行 山口・下関・門司港・萩・津和野11版」に掲載
- ◇錦川鉄道企画ツアー等の新聞広告等への掲載  
・錦川鉄道を利用したツアーやイベント等の情報を、「日刊いわくに」や中国新聞に10件掲載
- ◇PR用チラシ等の作成  
・岩日線開通50周年錦川鉄道記念イベントのPRポスター・チラシの作成
- ◇「とことこトレイン」PR用ボードの更新  
・「錦帯橋」橋の駅の「とことこトレイン」PR用ボードを更新



②利用促進のためのアテンダント事業 580千円

- ・7/31～8/29の間、沿線の自然、文化等の案内とともに乗降サポートを行うアテンダントを乗車

③利用促進のための錦川鉄道HPのリニューアル事業  
570千円

- ・ホームページを見て「楽しくなる」「行って見たくなる」デザインに変更するとともにツアー等の予約システムの追加など高機能化を図る

## 22年度 導入 への プロセス

平成22年2月24日開催の岩国市地域公共交通活性化再生法協議会  
平成21年度第3回会議で平成22年度事業について協議

- ・年々、沿線人口が減少する中、錦川鉄道の利用を増やしていくためには、錦川鉄道沿線の情報を広く発信して交流人口の拡大を図ることが重要
- ・そこで、観光ツアーやイベントの情報、沿線の魅力を発信することに重点をおいた事業を展開

## 22年度 事業の 効果

### 利用者数の下支え

平成22年度の輸送人員は対前年度比2.0%減(普通旅客は1.4%減)ではあるが、沿線人口の減少等により、これまで年平均4~5%減少している状況からすると、情報発信等の各事業が、観光利用の促進につながり、利用者数の下支えになったといえる。

### 潜在需要の掘り起こし

7月31日~8月29日に行ったアテンダント事業では、「アテンダントの乗車が錦川鉄道の利用のきっかけになった」とアンケート回答(28%)しており、潜在需要の掘り起こしに寄与した。

### 情報発信の効果

観光ツアー参加者の情報取得経路は、新聞広告が約40%と最も多く、観光利用の促進にはPR事業が効果的である。

### 観光利用の促進

観光ツアーなど団体輸送の件数が、対前年度比51.5%増、人員で32.6%増であり、錦川鉄道を利用したツアーの情報発信が要因にあげられる。

さらなる交流人口の拡大により、鉄道の利用促進と地域の活性化を図る。

## 次年度 以降

### ①情報発信等の強化

観光利用の促進には情報発信は重要であることから、錦川鉄道の観光情報やツアーなどを、時期に合わせた生きた情報として、より多くの人に提供できるように工夫しながら発信する。

### ②鉄道に乗る魅力の向上

アテンダント事業は、潜在需要の創出と利用者の満足度の高い事業であることから、付加的サービスに価値を見いだす層や地元の高齢者の利用増に向け、さらなるサービスを付加して実施する。